

# 大神楽優勝&綱

# 紙相撲新聞

第162回本場所  
十日目~千秋楽号

編集・発行  
日本紙相撲協会

## 悲願の綱昇進、磯ノ海親方感涙 来場所は史上初の4横綱時代へ

〔第一百六十二回本場所十日目~千秋楽〕

酷暑きびしい8月17日に十日目と千秋楽が行われ、千秋楽最後まで激しい優勝争いとなった。

前日まで九連勝と土つかずの大関大神楽、一差でこれを追う新入幕の西勢ノ里、二差で小結鬼ヶ嶽と平幕の夢ノ花、白閃光が追う展開の優勝争い。十日目、千秋楽の対戦相手からみて大関大神楽がやや有利かという大方の予想である。



↑ 千秋楽、負ければ三つ巴の決定戦というプレッシャーのなか、西神門の喉輪攻めを堪えに堪えて押し潰し大きな一番を制した。  
↓ 十日目、勝てば優勝の大神楽だったが、全く勝てない横綱相手に今場所も苦杯を喫した。



土がついた大神楽は、絶好の体勢で敗れたためか納得いかなかった。何とも言えない表情であった。

さらには小結鬼ヶ嶽は閉脇綱乃花と対戦し立ち合い鬼ヶ嶽が遅れ気味に立ち合ったところを

また、夢ノ花は初顔の磯ノ海と相対し立ち合いから差し手争いから末、最後は地磯力が勝つを寄り切り



夢ノ花○(寄り切り) ●磯ノ海

満員の中入り後、まず二敗の白閃光は合口の悪い花袋と対戦となったが過去に戦績とは裏腹に立ち合い得意の押しながら左下手を引きそのま正面土俵へ寄り切った。



白閃光○(寄り切り) ●英 笹

綱乃花が左を差したかと思われたが、差しを右につきしかま右足が流れ、鬼ヶ嶽が綱乃花の腕をつかみ無理的な体勢から寄り切った。



四季嶋○(押し倒し) ●西勢里



綱乃花●(寄り切り) ○鬼ヶ嶽

優勝	殊勲賞	敢闘賞	技能賞	十幕	三幕	序二段	序口
大神楽	鬼ヶ嶽	夢ノ花	磯ノ海	櫻吹雪	千文岳	榎尾山	福笑本
十勝一敗	九勝二敗	九勝二敗	六勝五敗	九勝二敗	五勝	五勝	五勝
(3)	(3)	(5)	(初)	(初)	(初)	(初)	(初)

優勝インタビューでは大神楽もここまで来るのが良かったが、皆様のおかげでここまで来ることができました。平常心で場所を望むことができたのがよかったとコメントした。師匠の磯ノ海親方も喜び爆発で、周りの人が抑えられなくなるくらい狂喜乱舞状態であった。

先場所、先々場所優勝同点、今場所優勝を成し遂げた大関大神楽は千秋楽打ち出し後、緊急理事会が招集され、満場一致で来場所の横綱推挙されることが決まった。来場所は、紙相撲史上初の四横綱時代が到来する。

これより三役の後、結び前、トップで走る一敗の大神楽は大関西神門との対戦、立ち合い西神門が突き押しして攻める、なおもど輪押しして攻められるも大神楽は反身になりながら残る、最後は西神門が前かがみになり疲れたとところを引き落としで破り、見事三回目の優勝を果たした。勝ち名乗りを受けた後は、観衆万雷の拍手を受けた。

また同じ二敗同士鬼ヶ嶽と白閃光の一番は、先に白閃光がのど輪で攻めるもあとの攻め手が欠き、逆に引き落とされて鬼ヶ嶽が二敗を守った。



白閃光●(引き落とし) ○鬼ヶ嶽



西勢里●(押し倒し) ○夢ノ花